

2023 年 3 月期 中間決算報告

株式会社ソラシドエア(本社:宮崎県宮崎市、代表取締役社長:高橋 宏輔)は、2023 年 3 月期中間決算を取りまとめました。詳細につきましては、別紙「2023 年 3 月期 中間決算短信」をご参照ください。

1. 2022 年 9 月中間期(2022 年 4 月 1 日～9 月 30 日)の業績

(1) 概況

当中間会計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する制限緩和と経済活動の正常化により、個人消費が緩やかに持ち直しつつあり回復基調にあります。

航空業界においては、コロナ禍に伴う行動制限がなくなり、旅行及びビジネス需要が着実に増加、夏場の感染拡大で一時的に鈍化したものの、引き続き緩やかに回復の方向へ向かっています。一方で、燃油価格の高騰や円安の加速が事業運営に大きな影響を及ぼしている他、未だ新型コロナウイルス感染症の収束時期は見通せず、先行きは依然不透明な状況が続いています。

当社においても、旅客需要は回復しつつあり、利用者数は前年同期比で約 2 倍に増加したものの、利用率はコロナ禍前の水準には依然達していない状況です。収入面では、夏場には「第 7 波」で回復ペースが一時鈍化したことに加え、9 月の天候起因(台風)による欠航が大きく影響しました。費用面では、継続して費用抑制に取り組んでいるものの、燃油価格や為替の激変が事業費を圧迫し、依然厳しい状況にあります。

営業・サービス面では、本年 8 月に就航 20 周年を迎え、小児運賃特別キャンペーンやソラシドスペシャル サンキューセールなどの需要喚起に繋がる運賃施策に加え、マイル抽選キャンペーンや飛行機モザイクアートなどのプロモーションをはじめ、20 年分の感謝を込めた様々な記念企画を実施しました。また、昨年 10 月より開始している空陸一貫高速小口貨物輸送サービス「ソラチョコ便」において、「みやざき地頭鶏」をチルド帯で届ける流通を開始し事業の充実を図るなど、地元と連携し地方創生や地元の魅力発信に取り組んでいます。

当社は、本年 10 月に株式会社 AIRDO との共同持株会社「リージョナルプラスウイングス」を設立し、新たな事業運営を推進してまいります。しかしながら、地元根差した航空会社であることに変わりはなく、引き続き地元とともに持続的な発展に尽力してまいります。

今後も、当社は「九州・沖縄の翼」として、ブランドプロミス「空から笑顔の種をまく。」のもと、お客様に笑顔で安心してご搭乗いただくために、引き続き、安全運航を第一に定時運航・品質向上に努めてまいります。

(2) 業績状況

当中間会計期間における業績は、営業収入が 18,032 百万円（前年同期比 56.0%増）となりました。事業費は 17,546 百万円（同 25.3%増）、販売費及び一般管理費は 1,756 百万円（同 10.4%増）となり、この結果、営業利益は△1,270 百万円となりました。営業外収益 961 百万円及び営業外費用 88 百万円を加味した経常利益△398 百万円は前年同期に比べ 3,479 百万円改善しました。税引前中間純利益は△398 百万円、中間純利益は 568 百万円（前年同期比 2,303 百万円改善）となりました。

【業績状況】	2022年9月中間期	2021年9月中間期	対前年増減	前年同期比
営業収入(百万円)	18,032	11,557	+6,474	+56.0%
営業費用(百万円)	19,302	15,585	+3,717	+23.8%
営業利益(百万円)	△1,270	△4,027	+2,757	—
営業利益率(%)	△7.0	△34.8	+27.8	—
経常利益(百万円)	△398	△3,877	+3,479	—
中間純利益(百万円)	568	△1,734	+2,303	—

(3) 財務状況

当中間会計期間末における総資産の残高は 48,771 百万円（前事業年度末 43,608 百万円）となり、前事業年度末に比べ 5,162 百万円増加しました。流動資産は、2,428 百万円増加し 17,672 百万円（同 15,244 百万円）となりました。固定資産は、31,098 百万円（同 28,364 百万円）となり 2,733 百万円増加しました。

負債の残高は 42,602 百万円（前事業年度末 37,164 百万円）となり、前事業年度末に比べ 5,438 百万円増加しました。流動負債は 1,452 百万円増加し 11,134 百万円（同 9,682 百万円）となりました。固定負債は 3,986 百万円増加し 31,468 百万円（同 27,481 百万円）となりました。

純資産の残高は前事業年度末に比べ 276 百万円減少し 6,168 百万円（前事業年度末 6,444 百万円）となりました。

【財務状況】	2022年9月中間期	2022年3月期	増減
総資産(百万円)	48,771	43,608	5,162
純資産(百万円)	6,168	6,444	△276
1株当たり純資産額(円)	17,022.28	18,223.40	△1,201.12
自己資本比率(%)	12.6	14.7	△2.1

※ 自己資本比率は小数点第 2 位以下を切り捨て

(4) 運航実績・輸送実績

運航便数については、新型コロナウイルス感染症による運休・減便数は前中間会計期間より減少しました。9月に発生した台風の影響により、欠航便が増加しました。

【運航実績】	2022年9月中間期	2021年9月中間期	対前年増減
定期運航便数 (便)	13,639	12,438	+1,201
欠航便数 (便)	255	147	+108
就航率 (%)	98.2	98.8	△0.7
定時出発率 (%)	95.3	99.0	△3.7

提供座席数は1,609,849席(前年同期比13.1%増)となり、有償旅客数は888,376人(同108%増)、有償座席利用率は56.9%(前年同期25.6pt増)となりました。

【輸送実績】 *コードシェア販売分を除く	2022年9月中間期	2021年9月中間期	対前年増減 (比)
提供座席数 (席)	1,609,849	1,423,761	+186,088 (+13.1%)
有償旅客数 (人)	888,376	427,771	+460,605 (+108%)
提供座席キロ (千席・キロ)	1,745,323	1,552,939	+192,384
有償旅客キロ (千人・キロ)	993,296	486,520	+506,776
有償座席利用率 (%)	56.9	31.3	+25.6

2. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

新型コロナウイルス感染症拡大の長期化や不安定な海外情勢の影響、燃油価格の上昇や為替変動リスクなどにより、業績の見通しは依然不透明であり、現時点での収支の予想は非常に困難であることから、予想値の公表を見送ることとしました。業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

以上

<参考資料>

(数値は全て%)

路線別輸送実績 *コードシェア販売分を除く		有償座席利用率 (前中間会計期間値)	提供座席数 前中間会計期間比	有償旅客数 前中間会計期間比
東京 (羽田)	一宮崎	43.5 (22.3)	+10.3	+115.1
	一熊本	53.5 (30.1)	+10.0	+95.6
	一長崎	47.6 (24.0)	+7.6	+113.3
	一鹿児島	71.9 (42.3)	+8.7	+84.7
	一大分	42.4 (23.6)	+13.2	+103.8
	一沖縄(那覇)	73.6 (41.7)	+17.9	+108.3
小計		56.5 (31.1)	+11.1	+101.9
沖縄 (那覇)	一宮崎	51.4 (20.5)	△0.2	+150.2
	一鹿児島	57.2 (24.3)	△3.3	+127.6
	一神戸	72.0 (43.4)	+2.7	+70.3
	一名古屋(中部)	51.9 (25.7)	+0.7	+103.1
	一石垣	51.9 (21.3)	+44.5	+251.7
	一福岡	43.8 (24.8)	+167.8	+372.8
小計		58.5 (31.5)	+23.5	+143.5
名古屋 (中部)	一鹿児島	61.2 (30.9)	+1.7	+101.5
	一宮崎	63.7 (47.4)	+1.5	+36.6
小計		62.4 (38.5)	+1.6	+62.2
全路線合計		56.9 (31.3)	+13.1	+107.7